

平成 17 年度 感染症発生動向調査事業関連のウイルス検査結果

保健科学部門 ウイルス担当

当所では平成 4 年から福岡県結核・感染症発生動向調査事業に参画しており、現在、8 医療機関 9 病原体定点を対象に検査を行っている。

表 1 に臨床診断名別ウイルス検査結果を示した。平成

17 年度、病原体定点より搬入された検体は、177 検体（患者 157 名）で、検体数は昨年度より減少した。

搬入された検体は、インフルエンザが例年どおり最も多く、次に感染性胃腸炎、ヘルパンギーナと続いた。

表 1 平成 17 年度臨床診断名別ウイルス検査結果

臨床診断名	患者数	検体数	検出数	検体	検出ウイルス(株数)
肝炎	3	3	0	ふん便	
急性脳炎	4	6	0	咽頭ぬぐい液 ふん便	
インフルエンザ	69	69	42	咽頭うがい液 咽頭ぬぐい液 鼻汁	インフルエンザAH3型 (22) インフルエンザAH3型 (5) アデノ2型 (1) インフルエンザAH3型 (13) アデノ3型 (1)
咽頭結膜熱	2	2	1	咽頭ぬぐい液	アデノ3型 (1)
感染性胃腸炎	16	17	8	ふん便 尿	ノロウイルス (8)
手足口病	1	1	1	ふん便	エコー3型 (1)
ヘルパンギーナ	15	15	11	咽頭うがい液 咽頭ぬぐい液	コクサッキーA6型 (1) コクサッキーA5型 (2) コクサッキーA6型 (4) コクサッキーB4型 (3) コクサッキーB5型 (1)
流行性角結膜炎	4	4	0	結膜ぬぐい液	
無菌性髄膜炎	9	15	6	髄液 咽頭ぬぐい液 ふん便 尿	コクサッキーB3型 (2) ムンプス (1) コクサッキーB5型 (1) コクサッキーB3型 (1) コクサッキーB5型 (1)
その他	34	45	10	咽頭ぬぐい液 ふん便 尿 鼻汁 水疱内容物 口唇ぬぐい液	アデノ3型 (3) アデノ3型 (1) ポリオ2型 (1) ポリオ3型 (1) ノロウイルス (1) パレコ1型 (1) エコー3型 (1) 同定不能 (1)
計	157	177	79		

表2に月別，検査法別ウイルス検出状況を示した．ウイルス検出は夏期及び冬期に集中した．

ウイルスの検出は細胞培養(RD-18S・Vero・HEp-2・CaCo2・MDCK細胞)，Polymerase Chain Reaction(PCR)等で行った．その結果，177検体から79株のウイルス

が検出(検出率44.6%)された．

今年度インフルエンザウイルスは12月に初めて分離され，AH3型が流行し，AH1，B型は検出されなかった．なお，詳細は「福岡市におけるインフルエンザの流行状況(2005年度)」を参照．

表2 平成17年度月別，検査法別ウイルス検出状況

検出ウイルス	月別ウイルス検出状況												検出数	検査法別ウイルス検査状況					
														細胞培養法					PCR
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		RD-18S	Vero	HEp-2	CaCo2	MDCK	
コクサッキーA5型						2							2	2					
コクサッキーA6型				5									5				5		
コクサッキーB3型				1	2								3			3	1		
コクサッキーB4型				1	2								3		2	3	3		
コクサッキーB5型					3								3	1	1	2	1		
エコー3型	1			1									2	1	1	2	2		
ポリオ2型									1				1	1	1	1	1		
ポリオ3型								1					1			1	1		
パレコ1型												1	1				1		
インフルエンザAH3型									4	26	10		40				34	39	
ムンプス		1											1		1				
ノロウイルス								5	1	3			9					9	
アデノ2型								1					1			1	1		
アデノ3型			1	1		1				1	2		6	3	1	6	6		
同定不能								1					1				1		
合計	1	1	1	9	7	3	0	8	6	29	11	3	79	8	7	19	57	39	9

PCR : Polymerase Chain Reaction